

1/18

松江市・焼津市「小泉八雲を縁とする文化・観光連携協力に関する協定」締結式



小泉八雲が晩年の避暑地として毎夏を過ごした「焼津市（静岡県）」と、小泉八雲の価値、認知度をさらに向上させ、両市間の文化交流、観光連携を促進することを目的とした協定を締結しました。今後、八雲に関するイベントや、観光PRなどを相互に協力して取り組んでいきます。

ダイアリー

松江まちかど



松江市PRキャラクター
おまつちえ

小泉八雲とセツの面白エピソード

その6

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～



谷の音（松江歴史館蔵）

八雲とセツが交わした 隠語「谷の音」の意味とは？

松江にやって来た翌年（明治24年）4月、八雲は第15代松江大橋の完成式典を借家（京店）の2階から親友・西田千太郎と見学しました。その後灘町に出かけ、大相撲の興行を観戦しています。土俵にのぼったのは前年幕内に昇進したばかり、揖屋出身の地元力士・谷の音。セツによれば「谷の音はよく後まで話に出まして、肥った（ふと）という代わりに『谷の音』と申すのでございます」。、『思ひ出の記』より）



〈市HP〉

小泉八雲とセツに関する出前講座の申込受付中。詳しくはこちら▶

市報 松江 目次

- 02 地震発生! そのとき、どう行動する?
- 04 松江まちかどダイアリー／小泉八雲とセツの面白エピソード
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／町自連だより
- 06 食べごろ松江／シリーズ松江の匠
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイルポート
- 08 松江の路線バスが大きく変わります!
- 10 住所変更届出の受付時間を延長します
- 12 アイリッシュ・フェスティバル in Matsue 2026
- 13 マイナンバーカードの更新／医療費の節約に取り組みしましょう
- 14 後期高齢者医療制度の保険料額と納付方法
- 15 大口町交流事業「ウインタースクール」／中海・宍道湖・大山園域市長会通信
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 ひとりで悩まないで
3月は「自死対策強化月間」です
- 19 情報ひろば
- 26 でかけてほしいイベント情報～

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
QRコードを読み取って、
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.53



「何があっても 松江は大丈夫！」 の実現に向けて

1月6日(火)10時18分頃、島根県東部を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生し、市内では最大震度5強を観測しました。市内で震度5以上を記録したのは、平成12年10月6日に発生した鳥取県西部地震以来26年ぶりとなります。

地震発生からまもなく、津波の心配がないこと、島根原子力発電所に異常はないことを確認できたものの、しばらく余震が続く中で、多くの市民のみなさんが不安な時間を過ごされたことと思います。この地震によって負傷された方、また、家屋における瓦の破損、ビルの壁や窓ガラスのひび割れなどの被害に遭われた方に、心よりお見舞い申し上げます。

震度5強を観測した日の午後には、市内の全29公民館に避難所を開設し、最大90名のみなさんにご利用いただきました。

その翌朝には私自身、崖崩れが発生した市道や、校舎が損傷を受けた小・中学校に向いて被災状況を把握するとともに、松江城を訪ねて被害がなかったことを確認しました。併せて、松江商工会議

所・商工会や松江しんじ湖温泉・玉造温泉・美保関の各旅館組合と連携して、各旅館・ホテルのホームページなどを通じて、宿泊・観光施設の通常営業をアピールするとともに風評被害の防止に努めました。

本市では、今回の地震を踏まえて、住家被害の多発に備えた被害認定調査マニュアルを作成したり、新庁舎の最新設備を用いた情報共有機能の強化について整理を進めるなど、今後の自然災害に備えた万全の対応を図っています。

市民のみなさんに、「何があっても松江は大丈夫！」と実感していただけるよう、災害に強いまちづくりを着実に進めてまいります。



〈松江城現地確認の様子〉

町自連だより

グループ討議で新たな気付きを

古志原地区自治会連合会 篠原 栄しのはら さかえ

古志原地区は63自治会で構成し、9つの区で取りまとめをしております。年に2〜3回自治会長研修会を実施しています。特に2回目の区長・自治会長研修会は、自治会長をグループ分けし、自由にディスカッションをするワークショップ形式で行うことにより、有意義な時間となりました。ディスカッション後はグループ代表からの発表で内容を共有し、「役員のなり手がいない」「自治会費について」「自治会加入のメリットとは」「独自企画により女性の参加が増えた」「子ども会の在り方」など活発な意見がたくさん出ました。参加者からは「同じ悩みを持つ自治会もある」「討議の中でアドバイスをもらった」「新たな気付きをもらった」「このような会合は続けてほしい」など率直な思いを届けていただいております。



【区長・自治会長研修会の様子】

食べごろ松江

Vol. 15



桜で始まる旬絶品！「イワガキ」

〜まつえ旬もの食べてほしい〜

寒さが和らぎ陽気を感じられる時季になりました。海の中も徐々に春めき、旬を迎える水産物の出荷が始まります。今回は、そんな中から「イワガキ」を紹介し、一般的には、牡蠣は秋から冬にかけて旬を迎えるイメージがあると思いますが、それは「マガキ」で、全国に広く流通している牡蠣です。一方、「イワガキ」は春に出荷が始まり、夏にかけて旬を迎えます。また、小ぶりですが味が濃縮されているマガキに対して、イワガキは身が大きく厚く、食べ応えと上品な甘みとコクがあるなどの違いがあります。マガキは主に瀬戸内や三陸で養殖されていますが、イワガキは主に日本海側で養殖されており、ブランド化された隠岐のイワガキは地域を代表する水産物になっています。

されており、水揚げされた新鮮なイワガキは、市場への出荷のほか直販、飲食店での提供もされています。また、生産者の積極的なPRやイベント出店によって、ファンを増やしており、メディアにも取り上げられるほど、人気が高まっています。実際に島根町のイワガキを手取る機会がありましたが、驚くことと思います。まず、目を奪われるその大きさ。Mサイズでも、通常のマガキと比べると3倍ほどあるかというボリューム。そしてその香り。柔らかな華やかな海の香りが感じられます。もちろんその食味も。口いっぱい海の旨味を凝縮させたかのような深みのある味わいが広がり幸福感に包まれます。

本市では、島根町沿岸が波浪の影響を受けにくいイワガキ養殖の適地であったことや、比較的養殖の手間がかからないということから、25年ほど前に定置網漁業の副業としてイワガキ養殖がスタートしました。一時は、担い手不足などにより、出荷が落ち込んだ時期がありましたが、ベテラン漁師の若手育成や「イワガキ」の定置網企業への参入によって、「島根町のイワガキ」が再び注目を集めています。現在では、島根町の多古地区、野井地区、加賀地区で養殖

されています。例年3月下旬から4月上旬に「さくら祭り」が開催されており、そこではさまざまな出店が島根町を盛り上げています。中でも、イワガキを振る舞う出店には出荷を待ちわびたファンが駆けつけ、行列をつくることも。訪れた際にはぜひ立ち寄り、島根町のイワガキを手にとってみてはいかがでしょうか。

この機会を逃してしまっても、イワガキの旬は夏まで続きます。この地域だからこそ味わえる島根町の絶品イワガキ。ぜひご賞味ください。



島根町の豊かな海で育ったイワガキ



フジツボなどの付着物は、手作業で丁寧に取り除きます



炊き込みご飯やアヒーージョにも相性バッチリ

写真提供：永幸丸

【この記事に関するお問い合わせ】 産業経済部水産振興課 55-5636 【イワガキの注文に関するお問い合わせ】 JFしまね島根町支所 85-2309

市は長年にわたり地域産業の発展に貢献された技能者を表彰しています。

シリーズ「松江の匠」

令和7年度松江市手作り産業優良技能者表彰 受賞者の紹介

一般、各団体から受賞候補者を募集し審査を経て、昨年11月20日、本市の手作り産業の発展に貢献された技能者の表彰式を行いました。受賞者は次の皆さんです。皆さんの今後の更なる活躍を期待しています。

【功労賞(30年以上従事者)】

- 煎沢 良治氏 (石灯笼製造業) (写真1列目右から4人目)
- 中村 高広氏 (伝統料理) (写真1列目左から3人目)
- 宅和 英治氏 (造園業) (写真1列目右から2人目)

【奨励賞(15〜29年従事者)】

- 三島 耕二氏 (陶器加工業) (写真1列目右から1人目)
- 吉水 太郎氏 (建築板金業) (写真1列目左から2人目)
- 椿 真吾氏 (伝統料理) (写真2列目左から4人目)
- 小林 渉氏 (和菓子製造業) (写真2列目右から5人目)
- 能海 祥志氏 (和菓子製造業) (写真2列目左から5人目)



(受賞者紹介動画)



(松江の匠HP)

松江の皆さん こんにちわ。



いとう まこと
伊藤 誠

白潟小学校、第三中学校、松江南高校、同志社大学、みずほ銀行を経て現在作詞作曲家・歌手。松江関連の活動では、チェコ製ピアノ「ノヴィー」「ホリー」の各テーマ曲、玉造長楽園150周年記念歌「継ぎ人」、東京松江会愛唱歌「松江セレナーデ」など創作。全国でコンサート展開中。



私の歌創りは、白潟小学校一年の時に始まりました。友達とケンカした帰り、当時住んでいた灘町の路地で聴いたことのない歌が自分の口から湧いてきたのです。衝撃的で鳥肌が立ち、感動で涙した瞬間を今も鮮やかに覚えています。以降、湧き上がってきた歌を書き留める形で今まで続いています。逆に言えば、浮かんでくる以上やめようが無いのです(笑)。

大学時代にレコード会社主催の音楽祭でグランプリを頂戴しメジャーデビューしましたが、卒業して当時の第一勧業銀行(現みずほ銀行)に入り、歌は趣味として続けました。銀行の支店開設任務でスペインへ赴任した際には、現地の日本人会から熱烈なご依頼を受け、盆踊り大会のテーマ曲「マドリッド音頭」をス。スペイン語と日本語を交えて書きました。その歌はその後現在まで三十年にわたって現地で歌い継がれ、ネットで大きな反響を呼んでいることが注目され、テレビで私のドキュメンタリー番組が制作されたのです。2014年BS-TBSとNHKワールドで特別番組として、また2021年にはマールでもあらためて放映されました。

そんな銀行員時代、運命的なことが起きました。急性心筋梗塞で生死をさまよい、「九九九死に一生を得た(執刀医の言葉)のです。以降湧いてくる歌はいのちの尊さを謳う歌一色となり、ある日使命感のようなものを感じました。奇跡的に再び生かされた命、湧き上がってくる「いのちの歌」で誰かの悲しみをぬぐい、苦しんでいる人に寄り添い、笑顔に戻ってもらうために歌っていきこう、それが新たに命をいただいた自分のなすべき道なんだ、と想って銀行を辞め音楽活動一本に絞る決断をしました。すると日本経済新聞に大きく記事が載り、テレビ番組「賢者の選択」のテーマ曲のご依頼をいただき、「自分の決めた道が正しいければ、神様は応援してくださいさるんだな」と実感しました。

生まれ育った松江は誇らしい私の原点です。故郷の皆さんにまた歌を聴いていただけますよう。

ふるさと松江だんだん。



〈まつえ時代案内人勢ぞろい〉



〈松江城散歩中〉

私は400年前にタイムスリップして、松江城内を案内する『まつえ時代案内人』の家老・石垣猿之助と申します。

『まつえ時代案内人』は平成27年に松江城天守が国宝に指定されたことを機に、松江城の魅力をおますことなく伝えることを目的に結成され、現在15人の案内人が武者姿で活動しています。(昨年松江城天守は国宝指定10周年を迎えました。)

見どころ満載の松江城、特に急な階段を登り切った天守最上階に広がる大パノラマの眺望は、誰もが思わず圧倒されます。天守はもちろん、城内の至る所に隠された軍事機密を足軽目線で体験的に、またゲーム感覚を盛り込んだ案内も人気の一つです。

まちをよくする
マイルレポート

マツエジヨウ サンポ シマシヨウカ。

原田 雅史 (武者名..石垣猿之助)